

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1292700190		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	グループホームガーデンコート我孫子北 (1階)		
所在地	千葉県我孫子市久寺家307-1		
自己評価作成日	平成30年1月7日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社アミュレット
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階
訪問調査日	平成30年2月13日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

当社の社是である、お客様・ご家族・地域の「健やかな暮らし」に貢献するの実現に向けて全職員が行動目標を持ち、個々のお客様が自立した楽しい生活が送れるように支援しています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

ホーム内で利用者が楽しく生活が送れるように、季節に合わせた行事を毎月実施し、季節感が感じられるように努め、利用者一人ひとりの笑顔を大切に支援につなげています。また、食事内容にも工夫を図り、月に一度利用者からのリクエストを食事メニューに反映し、鍋料理やちらし寿司、焼き肉やハンバーグなど利用者が食べたいと要望する物を提供できるように努めています。さらに、馴染みの人や場所との関係が途切れないような支援においても、地域の将棋教室へ継続的に参加できるように支援するほか、家族の協力を得て通い慣れた美容院への継続利用など、これまでの関係性が途切れない支援にも努めています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	出勤時や拠点会議時に、「社是、経営理念、心得」の読み上げや唱和を行い共有しています。	会社の社是、経営理念、心得をホーム内に掲示しており、職員全体で共有できるように取り組んでいます。またホームでは、「利用者一人ひとりの笑顔を大切に」、「働き易き環境づくり」、「家族とのコミュニケーション」を大切にしています。	会社の社是や経営理念、ホームで大切にしている考えなど職員間で共有できる仕組みづくりを期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コミュニティーカフェや地域の将棋同好会などに参加し、利用者が地域との交流を持つよう心がけています。	地域の将棋同好会に利用者が参加をしたり、社会福祉協議会主催の認知症カフェへの参加、歌や踊りのボランティアの方の受け入れなどを通じて地域の方と交流できる機会を持ち、地域の一員として生活が送れるようにサポートしています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現状、運営推進会議の報告のみになっています。こども110番の家の申請等を行い地域に貢献していきたいと考えています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に開催し、事業所の報告やご意見を頂きサービス向上につなげています。	市役所の担当課、地域包括支援センター、家族の代表者の参加を受け、定期的を実施しています。会議では、ホームの取り組みや運営状況の報告のほか、参加者との意見交換を通じてサービス向上につなげていけるように取り組んでいます。	今後に向けては地域住民の代表として自治会や民生委員などの方にも参加を依頼し、より多くの地域情報の収集につながることを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	疑問点があれば連絡をし、情報共有や意見を参考にしています。	市の担当課職員は地域包括支援センターと交互で2ヶ月に一度の運営推進会議に参加しておりホームの現状等を共有することができています。運営上の疑問点等を相談した際にも丁寧に回答を受けることができ、日頃から協力関係を築き運営を進めています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拠点会議にて、「高齢者虐待や身体拘束」を学ぶ機会を作り、職員間の意識向上につなげました。また、気が付いた事をすぐに報告できる職場環境を意識しています。	身体拘束をしないケアの実践に向け、高齢者虐待防止(身体拘束廃止を含む)研修をホーム内で実施しており、職員の理解を深めています。現状ホーム内では身体拘束につながる事例は発生していません。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	上記同様、研修を通し意識向上に努めています。定期的に面談をし、問題点や改善点を話しあう事で虐待を見過ごさ無いように努めています。		

グループホームガーデンコート我孫子北(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在学ぶ機会を持っていません。今後、県主催の研修を受講し、職員と情報共有することで学ぶ機会を持ちたいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結・解約時には、文書を読み合わせ十分な説明を行っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お客様アンケートを実施し、ご意見・ご要望を運営に反映させています。	面会時や電話連絡時において家族からの意見や要望を定期的に抽出しているほか、法人主催の顧客満足度調査の実施など意見等を表出できる機会を設けています。また、介護相談員も毎月来所され利用者からの意見等を収集しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	3ヶ月に一度、面談を行い職員の意見を聞くようにしています。普段の業務でも現場に顔をだし、職員とのコミュニケーションをとる事で、意見や提案が聞ける機会を増やしています。	管理者は職員と3ヶ月に一度面談する機会を設け、職員からの意向や要望などを定期的に確認しています。支援や業務に対する意見、要望、提案等については拠点会議やユニット会議時に確認し、日々の支援に活かしていけるように取り組んでいます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が働きやすいよう、労働時間や勤務体系は希望に沿えるよう心がけています。職場環境では備品の不備やスタッフの要望があった時に、すぐ対応する事で職務に支障がきたさないよう努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人外での研修参加については、行えていないのが現状です。施設内での研修やOJTは実践できています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現状出来ていません。今後、施設見学などを通じ交流する機会を増やしていきたいと考えています。		

グループホームガーデンコート我孫子北(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面談時しっかりアセスメントを行い、生活歴や趣味趣向を把握することで混乱を最小限に抑えられるように心がけています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安や要望にこたえ、安心して預けていただける環境を提案しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要なサービスを選択出来るよう、説明・提案しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活において、お客様が出来る事を職員が見つめ、役割を持ってもらう事で協同して家事等を行っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	外出支援や外泊等、施設側だけでは対応できないこと等ご家族様に協力して頂いています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	将棋教室や、馴染みの美容院など関係性が途切れないように継続した支援を心がけています。外出が困難な方には、施設へ面会に来て頂き関係性を継続出来ています。	馴染みの人や場所との関係が途切れないような支援では、地域の将棋教室へ継続的に参加できるように支援するほか、家族の協力を得て通い慣れた美容院への継続利用など、これまでの関係性が途切れない支援に努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が良好な関係を築ける為に、状況に応じてはスタッフが間に入り誘導や声かけを行っています。		

グループホームガーデンコート我孫子北(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用終了後、いつでも相談にお越し下さいと伝えています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントを実施し、ご本人、ご家族の意向に沿った生活を提案しています。職員からの意見や普段の様子を聞く事で現状の把握にも努めています。	利用者からの意向や要望等については、職員が日常会話から収集し、日々の支援に活かしています。また、ケアプランの更新及び見直し時にはアセスメントを実施し、利用者の現状や課題、思い等を抽出しケアプランに反映しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回面談時の情報だけでなく、日々の会話や職員が気が付いた事などの情報を共有するよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	必ず朝夕に申し送りを行う事で、その日の生活ぶりや体調変化の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月モニタリングを行い、変化があればケアプランに反映し、その際にご家族と話し合う機会を授けています。	アセスメントで抽出した結果を踏まえ、担当者会議において職員、家族の意見を収集し、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランで掲げた目標の達成状況は毎月のモニタリングで確認しています。	今後に向けてはケアプランの作成及び見直しにあたっては主治医や看護師など多職種の意見も踏まえて作成できると良いと考えます。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	特記事項があれば、後日読み返しても分かるよう細かく内容を記入しています。当日のスタッフのみで情報が止まらないよう、個人記録の見直しを行い、見直したスタッフにはサインを頂いています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	原則、介護保険制度に即したサービス内容を実施しています。ニーズにより柔軟なサービスが安全に行える事を最優先としています。		

グループホームガーデンコート我孫子北(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	障害者総合支援法の利用者がいます。外出が可能であるため、外出支援はガイドヘルパーの利用の継続をしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際に説明で、入居後のかかりつけ医の選択はご本人・ご家族様をお願いしています。提携医をかかりつけ医として選択された場合でも必要時専門医より医療を受けられるよう支援しています。	提携先の医療機関とは月2回の往診を通じて連携し、利用者が必要な医療を受けられる体制を築いています。提携先医療機関とは24時間のオンコール体制を築いており、利用者の体調変化時にも迅速に対応できる体制としています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在、看護師の配置はありません。提携医療機関の看護師と情報共有し、特変事には対応しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には「看護サマリー」による情報共有を行っています。長期の入院になる時は病院に行き、ご様子の確認や退院時期の相談等を行っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約締結時に、重度化や終末期についての説明と方針の共有をしています。	重度化や終末期に向けた方針については、利用契約の際にホームとして取り組めることを家族に説明し方針を共有しています。ホームで生活を送る中で重度化が見られる際には、主治医、家族と今後の方針について再度検討していくこととしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時のマニュアルは全職員に確認してもらっており、マニュアルを現場に置く事でいつでも閲覧できる環境です。実践的な訓練は出来ていないので課題としてあげられます。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練と館内の避難経路、ハザードマップを掲示する事で災害時に対応出来るよう対策しています。地域と合同での避難訓練は出来ていません。	平成29年9月と平成30年3月(予定)に避難訓練を実施しています。9月の訓練では消防署も立会い消火や通報訓練を実施しています。また、「風水害、震災、災害対応マニュアル」を整備し災害時の対応を明確にしています。	周辺地域の水害状況についてハザードマップなどで確認し全体で共有を図ると共に、災害時に備え備蓄品についても順次整備されることを期待します。

グループホームガーデンコート我孫子北(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけ等、不適切ケアが無いように研修を通し職員間で情報共有しています。	「モラル・コンプライアンス」の研修を法人全体で実施し、利用者への言動や行動等の振り返りにつなげています。またトイレ誘導時の声掛けや居室への出入りについても羞恥心やプライバシーに配慮し対応しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員の都合で動いて頂くのではなく、利用者様に選択出来るような声かけ、対応を心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務に追われても、お客様が主体である事を理解して対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服装や整髪等、日々の生活における事はしっかり行っています。爪切りや散髪等も定期的に行い、気持ちよく生活して頂けるよう心がけています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者に合わせた食事形態の工夫をしています。月に一度のリクエスト食、誕生日にはケーキを用意したりと楽しみを持って食事をして頂いています。	食事の準備や後片付けは、可能な限り利用者にも声をかけお皿を洗って頂いたり、野菜を切る作業などに関われるように支援しています。食事を楽しむ工夫では利用者のリクエストをメニューに反映したり、季節行事で行事食の提供を通じて楽しみにつなげています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の水分量を記録し、不足が無いよう申し送り時に確認しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは、毎食後行っています。うがいが出来ない方等、「個人の状況に合わせた口腔ケアを行っています。		

グループホームガーデンコート我孫子北(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自立してトイレに行かれる方は、都度対応しています。ご自身で行かれない方には、排尿間隔を見てお声かけし、トイレでの排尿を目指しています。	利用者一人ひとりの排泄状況に関しては、個人日誌内の所定欄に排泄に関する記録を残しています。利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳を飲まれたり、運動をする事で排便に繋げています。排便が無い日が続く時は、薬でコントロールしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日や時間帯はある程度決まっていますが、体調や、利用者様の気分によっては日にちを変える等、臨機応変に行えるよう心がけています。入浴を楽しめる工夫としては、入浴剤を使用する等行っています。	利用者の体調を考慮し週に2回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助につき安全に入浴できる体制としています。また、各種入浴剤なども使用し、入浴の楽しみにつなげています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体力に合わせた安眠・休息を確保しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時に情報共有し、服薬調整しています。薬が追加、変更になった際には現場に情報を流すようにしています。事務所には薬の効用をまとめたファイルがあり、随時閲覧できる環境にあります。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々のレクリエーションだけでなく、季節ごとの行事等、月に一度はイベントをするよう心がけています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員による支援だけでは限界があり、ご家族の協力により何とか外出支援は来ています。遠方には行けていないが、近隣の将棋同好会に出席する等行えています。	現状積極的な外出活動とまでは至っていませんが、毎日家族の方が面会に訪れ、利用者を外出にお連れしたり、家族の協力を得て通い慣れた美容院へお連れ頂くなど、家族の協力を得て戸外に出かけられるように努めています。	今後に向けては利用者の体調や季節に合わせてホーム周辺の散歩やときには外出計画を立て、戸外に出かけられる機会が増えていくことを期待します。



グループホームガーデンコート我孫子北(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お預かり金から本人の希望に応じて使用しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の訴えがあった時には対応しています。手紙など届いた際にはお渡しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合った温度調節や湿度の管理を心がけています。トイレや浴槽等、日常的に使用する所は毎日清掃し清潔に保っています。	共用の空間は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫しています。1階にはウッドデッキのスペースがあり日光浴などを楽しめるスペースも確保しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者が過ごしやすいよう、その日の状況ではフロアの席順を動かし、過ごしやすい空間を作っています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は、本人の使いなれた物や好みの物を使用して頂いています。	居室は、利用者やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのものの持ち込みを可能とし、利用者が居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内部は安全安心に生活できるよう、適所に手すりを配置し、自由に移動が行える造りとなっています。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1292700190		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	グループホームガーデンコート我孫子北 (2階)		
所在地	千葉県我孫子市久寺家307-1		
自己評価作成日	平成30年1月7日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社アミュレット
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階
訪問調査日	平成30年2月13日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

当社の社是である、お客様・ご家族・地域の「健やかな暮らし」に貢献するの実現に向けて全職員が行動目標を持ち、個々のお客様が自立した楽しい生活が送れるように支援しています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

ホーム内で利用者が楽しく生活が送れるように、季節に合わせた行事を毎月実施し、季節感が感じられるように努め、利用者一人ひとりの笑顔を大切に支援につなげています。また、食事内容にも工夫を図り、月に一度利用者からのリクエストを食事メニューに反映し、鍋料理やちらし寿司、焼き肉やハンバーグなど利用者が食べたいと要望する物を提供できるように努めています。さらに、馴染みの人や場所との関係が途切れないような支援においても、地域の将棋教室へ継続的に参加できるように支援するほか、家族の協力を得て通い慣れた美容院への継続利用など、これまでの関係性が途切れない支援にも努めています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	出勤時や拠点会議時に、「社是、経営理念、心得」の読み上げや唱和を行い共有しています。	会社の社是、経営理念、心得をホーム内に掲示しており、職員全体で共有できるように取り組んでいます。またホームでは、「利用者一人ひとりの笑顔を大切に」、「働き易き環境づくり」、「家族とのコミュニケーション」を大切にしています。	会社の社是や経営理念、ホームで大切にしている考えなど職員間で共有できる仕組みづくりを期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コミュニティーカフェや地域の将棋同好会などに参加し、利用者が地域との交流を持つよう心がけています。	地域の将棋同好会に利用者が参加をしたり、社会福祉協議会主催の認知症カフェへの参加、歌や踊りのボランティアの方の受け入れなどを通じて地域の方と交流できる機会を持ち、地域の一員として生活が送れるようにサポートしています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現状、運営推進会議の報告のみになっています。こども110番の家の申請等を行い地域に貢献していきたいと考えています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に開催し、事業所の報告やご意見を頂きサービス向上につなげています。	市役所の担当課、地域包括支援センター、家族の代表者の参加を受け、定期的を実施しています。会議では、ホームの取り組みや運営状況の報告のほか、参加者との意見交換を通じてサービス向上につなげていけるように取り組んでいます。	今後に向けては地域住民の代表として自治会や民生委員などの方にも参加を依頼し、より多くの地域情報の収集につながることを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	疑問点があれば連絡をし、情報共有や意見を参考にしています。	市の担当課職員は地域包括支援センターと交互で2ヶ月に一度の運営推進会議に参加しておりホームの現状等を共有することができています。運営上の疑問点等を相談した際にも丁寧に回答を受けることができ、日頃から協力関係を築き運営を進めています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拠点会議にて、「高齢者虐待や身体拘束」を学ぶ機会を作り、職員間の意識向上につなげました。また、気が付いた事をすぐに報告できる職場環境を意識しています。	身体拘束をしないケアの実践に向け、高齢者虐待防止(身体拘束廃止を含む)研修をホーム内で実施しており、職員の理解を深めています。現状ホーム内では身体拘束につながる事例は発生していません。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	上記同様、研修を通し意識向上に努めています。定期的に面談をし、問題点や改善点を話しあいう事で虐待を見過ごさ無いように努めています。		

グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在学ぶ機会を持っていません。今後、県主催の研修を受講し、職員と情報共有することで学ぶ機会を持ちたいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結・解約時には、文書を読み合わせ十分な説明を行っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お客様アンケートを実施し、ご意見・ご要望を運営に反映させています。	面会時や電話連絡時において家族からの意見や要望を定期的に抽出しているほか、法人主催の顧客満足度調査の実施など意見等を表出できる機会を設けています。また、介護相談員も毎月来所され利用者からの意見等を収集しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	3ヶ月に一度、面談を行い職員の意見を聞くようにしています。普段の業務でも現場に顔をだし、職員とのコミュニケーションをとる事で、意見や提案が聞ける機会を増やしています。	管理者は職員と3ヶ月に一度面談する機会を設け、職員からの意向や要望などを定期的に確認しています。支援や業務に対する意見、要望、提案等については拠点会議やユニット会議時に確認し、日々の支援に活かしていけるように取り組んでいます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が働きやすいよう、労働時間や勤務体系は希望に沿えるよう心がけています。職場環境では備品の不備やスタッフの要望があった時に、すぐ対応する事で職務に支障がきたさないよう努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人外での研修参加については、行えていないのが現状です。施設内での研修やOJTは実践できています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現状出来ていません。今後、施設見学などを通じ交流する機会を増やしていきたいと考えています。		

グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面談時しっかりアセスメントを行い、生活歴や趣味趣向を把握することで混乱を最小限に抑えられるように心がけています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安や要望にこたえ、安心して預けていただける環境を提案しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要なサービスを選択出来るよう、説明・提案しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活において、お客様が出来る事を職員がを見つけ、役割を持ってもらう事で協同して家事等を行っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	外出支援や外泊等、施設側だけでは対応できないこと等ご家族様に協力して頂いています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	将棋教室や、馴染みの美容院など関係性が途切れないように継続した支援を心がけています。外出が困難な方には、施設へ面会に来て頂き関係性を継続出来ています。	馴染みの人や場所との関係が途切れないような支援では、地域の将棋教室へ継続的に参加できるように支援するほか、家族の協力を得て通い慣れた美容院への継続利用など、これまでの関係性が途切れない支援に努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が良好な関係を築ける為に、状況に応じてはスタッフが間に入り誘導や声かけを行っています。		

グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用終了後、いつでも相談にお越し下さいと伝えています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントを実施し、ご本人、ご家族の意向に沿った生活を提案しています。職員からの意見や普段の様子を聞く事で現状の把握にも努めています。	利用者からの意向や要望等については、職員が日常会話から収集し、日々の支援に活かしています。また、ケアプランの更新及び見直し時にはアセスメントを実施し、利用者の現状や課題、思い等を抽出しケアプランに反映しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回面談時の情報だけでなく、日々の会話や職員が気が付いた事などの情報を共有するよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	必ず朝夕に申し送りを行う事で、その日の生活ぶりや体調変化の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月モニタリングを行い、変化があればケアプランに反映し、その際にご家族と話し合う機会を授けています。	アセスメントで抽出した結果を踏まえ、担当者会議において職員、家族の意見を収集し、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランで掲げた目標の達成状況は毎月のモニタリングで確認しています。	今後に向けてはケアプランの作成及び見直しにあたっては主治医や看護師など多職種の意見も踏まえて作成できると良いと考えます。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	特記事項があれば、後日読み返しても分かるよう細かく内容を記入しています。当日のスタッフのみで情報が止まらないよう、個人記録の見直しを行い、見直したスタッフにはサインを頂いています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	原則、介護保険制度に即したサービス内容を実施しています。ニーズにより柔軟なサービスが安全に行える事を最優先としています。		

グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	障害者総合支援法の利用者がいます。外出が可能であるため、外出支援はガイドヘルパーの利用の継続をしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際に説明で、入居後のかかりつけ医の選択はご本人・ご家族様をお願いしています。提携医をかかりつけ医として選択された場合でも必要時専門医より医療を受けられるよう支援しています。	提携先の医療機関とは月2回の往診を通じて連携し、利用者が必要な医療を受けられる体制を築いています。提携先医療機関とは24時間のオンコール体制を築いており、利用者の体調変化時にも迅速に対応できる体制としています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在、看護師の配置はありません。提携医療機関の看護師と情報共有し、特変事には対応しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には「看護サマリー」による情報共有を行っています。長期の入院になる時は病院に行き、ご様子の確認や退院時期の相談等を行っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約締結時に、重度化や終末期についての説明と方針の共有をしています。	重度化や終末期に向けた方針については、利用契約の際にホームとして取り組めることを家族に説明し方針を共有しています。ホームで生活送る中で重度化が見られる際には、主治医、家族と今後の方針について再度検討していくこととしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時のマニュアルは全職員に確認してもらっており、マニュアルを現場に置く事でいつでも閲覧できる環境です。実践的な訓練は出来ていないので課題としてあげられます。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練と館内の避難経路、ハザードマップを掲示する事で災害時に対応出来るよう対策しています。地域と合同での避難訓練は出来ていません。	平成29年9月と平成30年3月(予定)に避難訓練を実施しています。9月の訓練では消防署も立会い消火や通報訓練を実施しています。また、「風水害、震災、災害対応マニュアル」を整備し災害時の対応を明確にしています。	周辺地域の水害状況についてハザードマップなどで確認し全体で共有を図ると共に、災害時に備え備蓄品についても順次整備されることを期待します。

グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけ等、不適切ケアが無いように研修を通し職員間で情報共有しています。	「モラル・コンプライアンス」の研修を法人全体で実施し、利用者への言動や行動等の振り返りにつなげています。またトイレ誘導時の声掛けや居室への出入りについても羞恥心やプライバシーに配慮し対応しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員の都合で動いて頂くのではなく、利用者様に選択出来るような声かけ、対応を心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務に追われても、お客様が主体である事を理解して対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服装や整髪等、日々の生活における事はしっかり行っています。爪切りや散髪等も定期的に行い、気持ちよく生活して頂けるよう心がけています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者に合わせた食事形態の工夫をしています。月に一度のリクエスト食、誕生日にはケーキを用意したりと楽しみを持って食事をして頂いています。	食事の準備や後片付けは、可能な限り利用者にも声をかけお皿を洗って頂いたり、野菜を切る作業などに関われるように支援しています。食事を楽しむ工夫では利用者のリクエストをメニューに反映したり、季節行事で行事食の提供を通じて楽しみにつなげています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の水分量を記録し、不足が無いよう申し送り時に確認しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは、毎食後行っています。うがいが出来ない方等、「個人の状況に合わせた口腔ケアを行っています。		



グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自立してトイレに行かれる方は、都度対応しています。ご自身で行かれない方には、排尿間隔を見てお声かけし、トイレでの排尿を目指しています。	利用者一人ひとりの排泄状況に関しては、個人日誌内の所定欄に排泄に関する記録を残しています。利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳を飲まれたり、運動をする事で排便に繋げています。排便が無い日が続く時は、薬でコントロールしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日や時間帯はある程度決まっていますが、体調や、利用者様の気分によっては日にちを変える等、臨機応変に行えるよう心がけています。入浴を楽しめる工夫としては、入浴剤を使用する等行っています。	利用者の体調を考慮し週に2回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助につき安全に入浴できる体制としています。また、各種入浴剤なども使用し、入浴の楽しみにつなげています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体力に合わせた安眠・休息を確保しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時に情報共有し、服薬調整しています。薬が追加、変更になった際には現場に情報を流すようにしています。事務所には薬の効用をまとめたファイルがあり、随時閲覧できる環境にあります。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々のレクリエーションだけでなく、季節ごとの行事等、月に一度はイベントをするよう心がけています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員による支援だけでは限界があり、ご家族の協力により何とか外出支援は出来ています。遠方には行けていないが、近隣の将棋同好会に出席する等行えています。	現状積極的な外出活動とまでは至っていませんが、毎日家族の方が面会に訪れ、利用者を外出にお連れしたり、家族の協力を得て通い慣れた美容院へお連れ頂くなど、家族の協力を得て戸外に出かけられるように努めています。	今後に向けては利用者の体調や季節に合わせてホーム周辺の散歩やときには外出計画を立て、戸外に出かけられる機会が増えていくことを期待します。

グループホームガーデンコート我孫子北(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お預かり金から本人の希望に応じて使用しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の訴えがあった時には対応しています。手紙など届いた際にはお渡しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合った温度調節や湿度の管理を心がけています。トイレや浴槽等、日常的に使用する所は毎日清掃し清潔に保っています。	共用の空間は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫しています。1階にはウッドデッキのスペースがあり日光浴などを楽しめるスペースも確保しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者が過ごしやすいよう、その日の状況ではフロアの席順を動かし、過ごしやすい空間を作っています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は、本人の使いなれた物や好みの物を使用して頂いています。	居室は、利用者やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのものの持ち込みを可能とし、利用者が居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内部は安全安心に生活できるよう、適所に手すりを配置し、自由に移動が行える造りとなっています。		